

ArcGIS

ArcGIS API for Silverlight

日本語化スタイル適用手順書 (v3.x)

目次

はじめに.....	1
日本語化スタイルおよび適用手順書について.....	1
Silverlight のスタイルとは.....	1
日本語化スタイルの使用上の注意点	1
日本語化スタイルの動作確認済み API ライブラリのバージョン.....	1
コントロールへの日本語化スタイルの適用方法.....	2
前提条件.....	2
コントロールの日本語化手順.....	3
日本語化スタイル ファイルとコントロール対応表	9

はじめに

日本語化スタイルおよび適用手順書について

日本語化スタイル適用手順書は ArcGIS API for Silverlight の ESRI.ArcGIS.Client.Toolkit ライブラリに含まれている 6 つのコントロール (AttachmentEditor, Bookmark, EditorWidget, FeatureDataGrid, Navigation, SignInDialog) を、スタイルを用いて日本語化する手順を紹介します。

Silverlight のスタイルとは

Silverlight ではスタイルを使用することで、コントロールの概観や動作を変更することができます。本手順書ではこのスタイルを利用して、ArcGIS API for Silverlight のコントロールを日本語化します。本手順書の手順を実行するまえに、以下の Microsoft の MSDN ライブラリを参照し、スタイルについて理解しておくことをお勧めします。

MSDN ライブラリ コントロールの概要 (Silverlight) :

[http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/cc645030\(v=vs.95\).aspx](http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/cc645030(v=vs.95).aspx)

日本語化スタイルの使用上の注意点

この手順書および日本語化スタイルは、ESRI ジャパンよりサンプルとして提供されており、製品としての動作保証や技術サポートを行っているものではありません。スタイル作成時には動作確認を行っていますが、本番環境への実装等に向けた十分な検証は行っていない為、予期せぬ動作、問題が発生する可能性があります。提供されるサンプルコードに関連して発生したいかなる影響に関しても、ESRI ジャパンは責任を負いかねますので、ユーザ様の責任のもと十分な動作検証を行って頂いた上で利用して頂く必要があります。

日本語化スタイルの動作確認済み API ライブラリのバージョン

現在、本手順書とともに提供されている日本語化用スタイルは、ESRI ジャパンのテスト環境において、以下の ArcGIS API for Silverlight のバージョンにおいて動作確認済みです。

- ArcGIS API 3.3 for Silverlight
- ArcGIS API 3.2 for Silverlight
- ArcGIS API 3.1 for Silverlight
- ArcGIS API 3.0 for Silverlight

コントロールへの日本語化スタイルの適用方法

前提条件

本手順書の手順を行う前に ArcGIS API for Silverlight を使用した Silverlight アプリケーションが作成されている必要があります。この手順の詳細については、下記リンクから ESRI ジャパンより公開されている スタートアップガイドをご参照ください。

- ArcGIS API for Silverlight スタートアップ ガイド (v3.x)

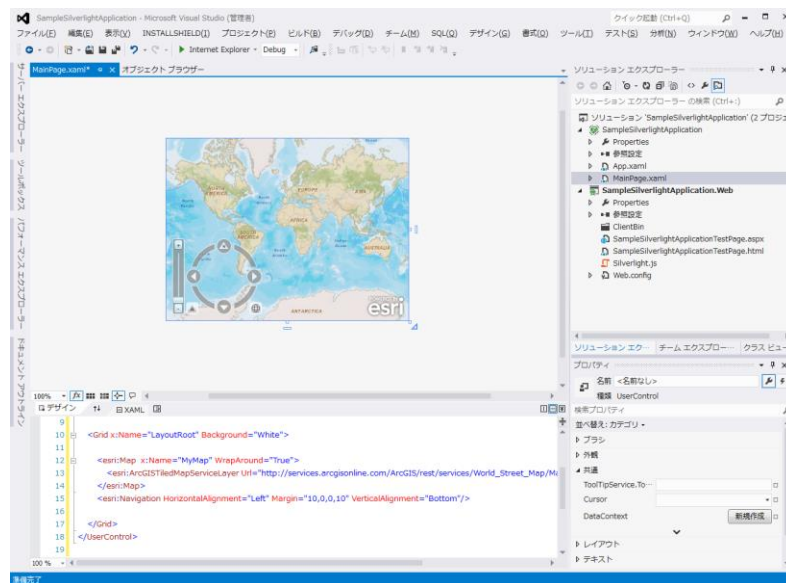
<http://www.esri.com/cgi-bin/wp/wp-content/uploads/documents/startup-silverlight-v3x.pdf>

コントロールの日本語化手順

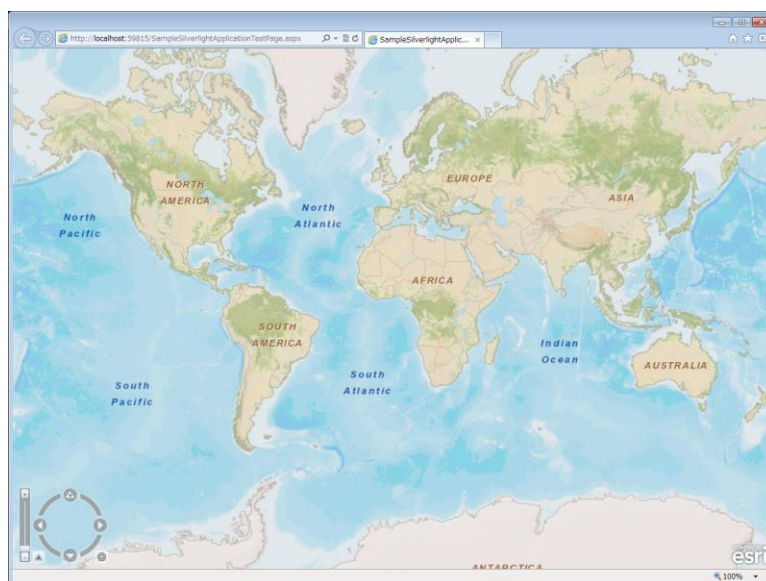
以下では、Visual Studio 2012 で作成した Silverlight アプリケーション プロジェクトにおいて、ESRI.ArcGIS.Client.Toolkit.dll に含まれる Navigation コントロールを日本語化する例を紹介します。

※ 以下の手順では、すでに Map コントロールと Navigation コントロールが追加された Silverlight アプリケーションに対して日本語化を行います。プロジェクトの作成方法等については、「[前提条件](#)」をご確認ください。

1. 日本語化を行うプロジェクトを開きます。



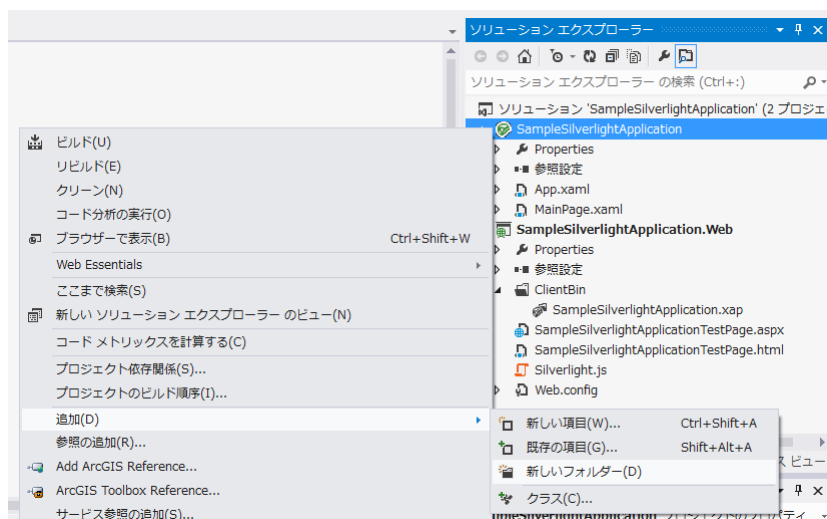
2. アプリケーションが正常に実行できることを確認します。



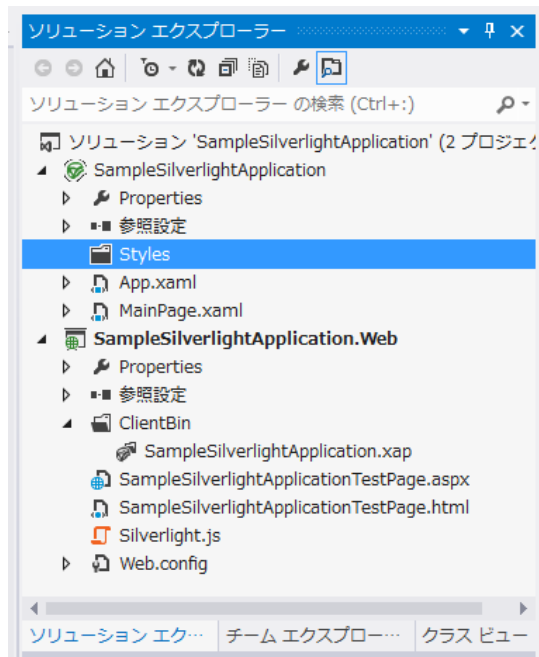
3. 日本語化されていない Navigation コントロールの場合、ツールチップなどは英語で表示されます。



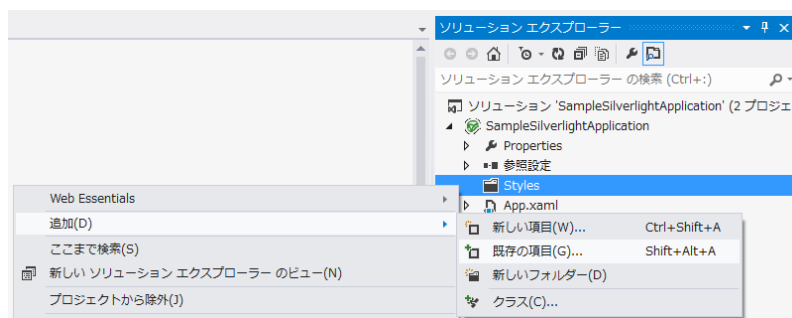
4. アプリケーションを停止し、Visual Studio のソリューション エクスプローラーから Silverlight アプリケーション プロジェクト (以下の例では、SampleSilverlightApplication プロジェクト) を右クリックし、[追加(D)] > [新しいフォルダー(D)]を選択します。



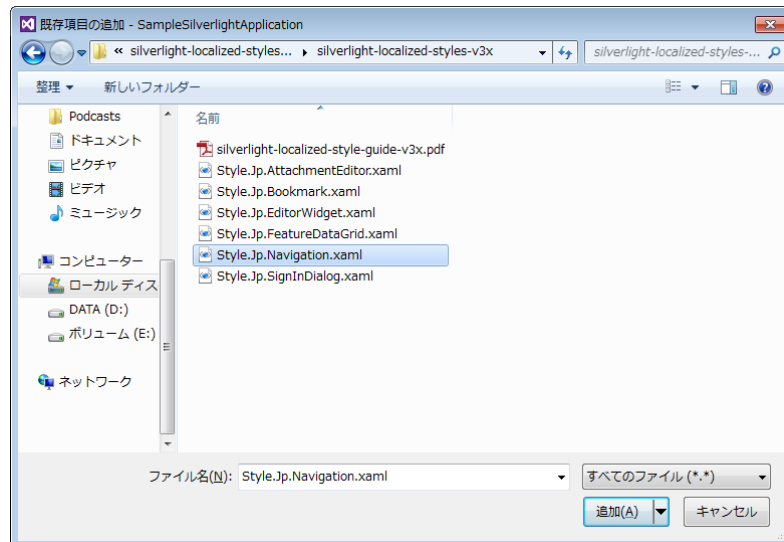
5. 追加されたフォルダーに「Styles」という名前をつけます（このフォルダーの名前は任意に変更することができます）。



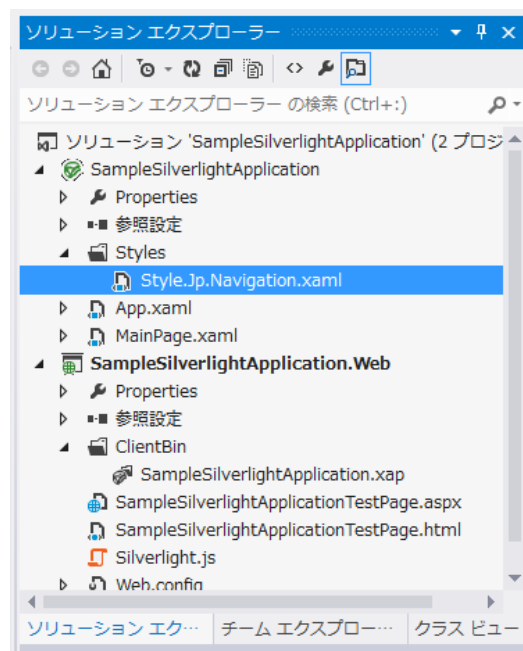
6. 手順 5 で作成した Styles フォルダーを右クリックし、[追加(D)] > [既存の項目(G)] を選択します。



7. ダウンロードして解凍した日本語化スタイル ファイルを含むフォルダーに移動し、Style.Jp.Navigation.xaml を選択して [追加(A)] をクリックします。



8. プロジェクトにスタイルが追加された事を確認します。



- ※ 複数のコントロールを日本語化する場合は、上記手順 6、7 を繰り返して必要なファイルをすべて追加します。
- ※ 各コントロールに日本語化スタイルを適用するためには、各コントロールがアプリケーションに追加されている必要があります。

9. App.xaml を開き以下のコードを <Application.Resources> タグ内に記述し、スタイルをアプリケーションのリソースに設定します。

```
<ResourceDictionary>

    <ResourceDictionary.MergedDictionaries>

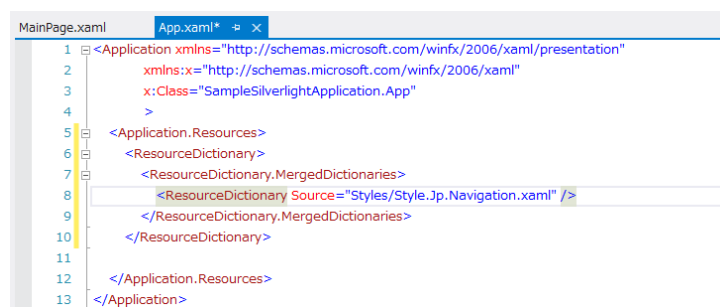
        <ResourceDictionary Source=^

            "Styles/Style.Jp.Navigation.xaml"/>

    </ResourceDictionary.MergedDictionaries>

</ResourceDictionary>
```

※ コード内の「^」は継続を示します。実際のコードでは記述せず、改行も行いません。



アプリケーション内で使用する複数のコントロールをローカライズする場合は、以下のよう
に <ResourceDictionary.MergedDictionaries> タグ 内にスタイル ファイルへの参照を複数
行記述します。

```
<ResourceDictionary>

    <ResourceDictionary.MergedDictionaries>

        <ResourceDictionary Source=^

            "Styles/Style.Jp.Navigation.xaml"/>

        <ResourceDictionary Source=^

            "Styles/Style.Jp.Bookmark.xaml"/>

    </ResourceDictionary.MergedDictionaries>

</ResourceDictionary>
```

10. MainPage.xaml を開き、NavigationContorol のスタイルを以下のように定義します。

```
Style="{StaticResource ResourceKey=Navigation_JP}"
```

```
<esri:Navigation x:Name="MyNavigation" HorizontalAlignment="Left"
    Margin="10,0,0,10" VerticalAlignment="Bottom"
    Map="{Binding ElementName=MyMap}"
    Style="{StaticResource ResourceKey=Navigation_JP}"/>
```

11. アプリケーションを実行し、ナビゲーションコントロールが日本語化されていることを確認します。



※ 本手順書の例では、ダウンロードした日本語化スタイル ファイルをソリューションに追加して参照する方法を用いていますが、日本語化を行うコントロールのリソースとしてスタイルが参照可能であれば、どのような方法でソリューションにスタイルを追加しても問題ありません。例えばコントロールの親要素のリソースに直接、日本語化スタイル ファイルの内容を記述することができます。Silverlight のスタイルの詳細については、「[Silverlight のスタイルとは](#)」の内容をご確認ください。

日本語化スタイル ファイルとコントロール対応表

本手順書では、例として Navigation コントロールを日本語化する手順を紹介しましたが、その他のコントロールを日本語化する場合も同様の手順を使用することができます。コントロールと日本語化スタイルファイルおよびスタイルを参照するためのリソース Key の対応は以下の通りです。

コントロール名	スタイル ファイル名	リソース Key
AttachmentEditor	Style.Jp.AttachmentEditor.xaml	AttachmentEditor_JP
Bookmark	Style.Jp.Bookmark.xaml	Bookmark_JP
EditorWidget	Style.Jp.EditorWidget.xaml	EditorWidget_JP
FeatureDataGrid	Style.Jp.FeatureDataGrid.xaml	FeatureDataGrid_JP
Navigation	Style.Jp.Navigation.xaml	Navigation_JP
SignInDialog	Style.Jp.SignInDialog.xaml	SignInDialog_JP

ArcGIS API for Silverlight

日本語化スタイル適用手順書 (v3.x)

2015 年 2 月 27 日

ESRI ジャパン株式会社

<http://www.esrij.com/>

Copyright(C) Esri Japan. 無断転載を禁ず

本書に記載されている社名、商品名は、各社の商標および登録商標です。

本書に記載されている内容は改良のため、予告なく変更される場合があります。

本書の内容は参考情報の提供を目的としており、本書に含まれる情報はその使用先の自己の責任において利用して頂く必要があります。

